

2月末現在の宮崎県立高校生の就職内定率 94.5% (昨年比+1.7%)

○県産業教育振興会の運営委員会が14日(月)午前中、県教育庁で開催されました。そのときに、本年度の就職内定率の話がありました。本校は、1月21日に100%を達成しましたが、県下では、100%を達成した学校は数えるほどだということです。秀峰一期生がいかに頑張ったかがわかります。また、先生方が熱心に指導してくださったおかげだと思います。



<運営委員会で話題になったこと>

- ・振興会の会員数が減少してきている。各学校で2～3件の新規会員を確保して欲しい。(インターンシップ協力の企業等)
- ・平成23年度から、地域に根ざした産業教育の推進の為に、生徒の活動を中心に支援を行なう。(地域別生徒発表や生徒の研究活動に対する助成)
- ・企業側から、インターンシップを活用して、元気のいい高校生を採用していきたい。
- ・企業の会合で生徒の研究を発表する機会を設けてもらい、高校生がどのようなことに取り組んでいるかを多くの企業に知ってもらうなどの工夫を高校側がもっと積極的に行なう必要がある。

16日(水)午前、西諸地区の中学校で卒業式が行なわれました。



卒業生一人ひとりがあいさつ

○本校からは、須木中と永久津中に出席しました。(写真は須木中) 須木中は、21名の卒業生で、その内11名が本校を希望しました。卒業生一人ひとりが、中学校での思い出、今後の目標、保護者などお世話になった方々への感謝の気持ちを述べた後、



校長先生の式辞を真剣に聴く

卒業証書を授与されました。卒業生が少ない中で、工夫された、心温まる卒業式でした。

※須木中は、多いときには全学年で400名余りの生徒数でしたが、現在は60名足らずとなっています。いかに生徒数が減少したかがわかります。

全国高校選抜大会の壮行式を行ないましたが・・・16日(水)7限 新体育館にて

○3年前は優勝し、昨年度は準優勝した新体操部は、今年こそは「日本一」を奪還すべく、大阪市で24日から26日に開催される大会に出場する予定でしたが、東北・関東大震災により、18日(金)に中止が決定しました。ハンドボール部も「日本



男子新体操部



男子ハンドボール部

一」を目指して、猛練習してきましたが、大会会場が岩手県花巻市であり、中止が14日(月)に決定していました。壮行式では二つの部とも日本一の模範演技を披露しました。二つの部とも次の大会に向けて、今後も一生懸命練習し、競技力をさらに向上させて欲しいと思います。

○今回の大震災では、「命の尊さ」を痛感しています。命さえあれば、どんなことでもできるのではないかとさえ思われます。昔から「命あっての物種」(何事も命があっての上のこと。死んではおしまい。)と言われています。このことを生徒たちにも十分考えさせ、今をしっかりと生きて欲しいです。

☆明日から学年末・春季休業です。新学年を迎える準備の期間を大切にしよう指導をお願いします。

高校入試の合格を発表！・・・241名が合格 二次募集は実施しません。



皆が集まった合格発表の瞬間



合格を知って抱き合って喜ぶ



早速、家族へ連絡される

○合格した時の喜びを忘れずに、秀峰四期生として入学し、頑張ってくださいと思います。

クラスマッチでハッスルしました！・・・バレー、バスケット、サッカー、ソフトボール

○18日（金）の朝は真冬並みの寒さでしたが、よく晴れて、生徒たちはスポーツに汗を流し、応援にも熱が入っていました。現学年最後の行事を大いに楽しんで、クラスの親睦を深めたようです。



やったー！飛び上がってホームイン



強烈なスパイクが決まりそう



ナイスシュート？決まったかな

体育館の新築を記念して、県外の2校を招いての交流試合が開催されました。・・・19日（土）

○各チーム30分の試合を4試合行ないました。本校は熊本市立千原台高に 17:13、20:10 で、佐賀清和高に 17:9、16:13 で勝ち、全国優勝を目指していただけあって、さすがの4連勝でした。交流試合を企画し支援してくださった小林商工会議所、ハンドボール協会など関係者の皆さんに感謝します。



右から千原台、秀峰、清和



本校:濃紺 ディフェンスもいい



シュートに2階の応援団も興奮

<今週のニュース>

☆東北・関東大震災関係・・・先週の新聞より

- ・超高濃度の放射能観測・・・福島第一原発 年間限度の400倍 4号機建屋、8メートルの穴
- ・原発30キロ内、屋内退避 20キロ圏内は全員避難 中性子線2回検出
- ・放射能対策 冷静に・・・不要不急の外出避ける 退避地域内は家の中で窓を閉めて洗濯物は室内干し 100ミリシーベルトを超えると健康に影響
- ・津波、大堤防が消失「まさか来るとは」・・・津波、最大5.2メートル浸食 沖合20キロまで漂流物
- ・宮城県南三陸町7.5センチ沈降・・・市街地・田畑 海水滞留のおそれ
- ・日本経済の先行き懸念が急速に強まり、15日の東京株式市場で株価が暴落
株価1015円安の8605円・・・「リーマン・ショック」の下げに匹敵
- ・死者数8450人 阪神大震災上回る、戦後最大に 行方不明者1万3千人余り 20日午後現在
- ・精鋭部隊 被ばく覚悟・・・原発へ東京消防隊放水 車外でホース延伸 20日未明
「信じて待ってます」家族の言葉胸に作業 2、5号機電力復活
- ・9日ぶり2人救助・・・80歳女性と16歳の孫 冷蔵庫の食料でしのぐ